

# コンプライアンス態勢の効率性と有効性を高める『内部監査機能』の高度化

～『内部監査機能』を高度化し、企業の長期的成長に資する

コンプライアンス態勢を確立するための手法を平易に解説～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2015年 5月 12日(火) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《開催にあたって》

消費者・社会の要請を背景とした種々の法改正等により、我が国企業は、コンプライアンス態勢の強化を進めてきました。しかし、その意味や実益が正しく理解されず、過剰な統制等により業務の効率性が阻害されている場合も見受けられます。そこで、現状のコンプライアンス態勢の本質的な課題を確認しつつ、顧客・社会からの信頼、職員の動機づけを通じて、企業の長期的成長に資するコンプライアンス態勢確立のための内部監査の着眼点、手法について解説を行います。

講師

東京国際コンサルティング(株) 代表取締役 青木茂幸氏  
(一般社団法人コンプライアンス推進機構 代表理事)



講師紹介

これまでに350を超える事業法人、金融機関、官公庁などのお客様に経営管理・コンプライアンス態勢整備、内部統制構築支援、内部監査支援、規制対応等の各種サービスを提供。公認不正検査士。公認リスク管理監査人(IIA)。日本内部監査協会金融内部監査士試験委員等を歴任。東京大学法学部卒業、三菱信託銀行㈱、経済官庁等を経て現職。一般社団法人コンプライアンス推進機構代表理事を兼務。企業内研修をはじめ、東京証券取引所、日本証券業協会、地方銀行協会、日本損害保険協会、不動産証券化協会等での講演多数。

《申込書送付先》 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名( 税込・資料代含 ) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

151213-0303 コンプライアンス態勢の効率性と有効性を高める内部監査機能の高度化			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。  
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])  
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。  
■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp  
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

## ・プログラム・

### 1 コンプライアンス態勢の課題

- (1) コンプライアンス態勢の課題
  - ・その目的、意義、実益の浸透度
  - ・統括機能・推進活動(システム化、推進機能)の脆弱性
- (2) 本質的なコンプライアンスプロセスの確立
  - ・コンプライアンス重視の経営の意義とは?
  - ・経営手法として倫理マネジメントが有効な理由とは?
  - ・「効率性」が極めて重要な理由とは?

### 2 内部監査機能の高度化

- (1) 内部統制の評価機能
  - ・手続の準拠性チェックから統制システムの検証へ
  - ・全社、業務プロセスのリスク評価や提言機能
  - ・発見事象と改善指摘の峻別
  - ・効率性・有効性の唯一の検証機能
- (2) 本社機能の検証
  - ・本社機能とリスク
  - ・本社各部の目的・業務分掌の検証・評価
  - ・本社と支社・支店の統制プロセス

### 3 コンプライアンス高度化に向けた内部監査の着眼点

- (1) 基本理念・倫理的価値観の浸透(実益、動機付け)
- (2) 組織体制の機能検証
  - ・経営陣、統括部署、オフィサーの役割は何か?
  - ・マネジメントを巻き込み、推進する手法
  - ・関係部署との役割分担(顧客対応、苦情相談、CSR等)
- (3) 倫理コンプライアンスプロセスの検証
  - ・規程、マニュアル等の整備と簡素化
  - ・研修システムの見直し(内容、頻度、名称等)
  - ・業務活動におけるシステムの組み込みとは?
    - 職場主体の推進活動
    - 相互確認・職責分離の仕組みづくり
  - ・部署や人事評価を含む全社的な制度設計

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。